



第 25 回全日本 A 級ディンギー選手権 2015 西宮大会



- 主 催： 日本 A 級ディンギー協会
公 認： (公財)日本セーリング連盟
- 主 管： 関西大学 A 級ガンタークラブ
甲風 A 級倶楽部(甲南大学)
摩耶帆友会(大阪大学)
- 後 援： 兵庫県・西宮市
協 力： (一般社団法人)関西ヨットクラブ・新西宮ヨットハーバー株式会社・
兵庫県セーリング連盟・JSAF 外洋内海
- 開 催 地： 新西宮ヨットハーバー
期 日： 2015 年 5 月 29 日(金)～31 日(日)

レース公示

Ver.4 (2015-04-18)

14 項「表彰」変更 16 項「メディア権・カメラおよび電子機器」追加

1. 規則： 本レガッタは『セーリング競技規則』に定義された規則、「日本 A 級ディンギー協会クラスルール」および「クラスルール(補則)」を適用する。付則 D は適用しない。
特に規則遵守を図るため「A 級ディンギーレースにおける規則遵守について」の徹底を図る。

■「クラスルール」、「クラスルール(補則)」および「A 級ディンギーレースにおける規則遵守について」は大会に先立ち公式ウェブサイト <http://aclass.cocolog-nifty.com> からダウンロードできる。ダウンロードができない場合は実行委員会からコピーを送付する。
2. 参加資格および申込：
チームの 1 人以上が、日本セーリング連盟(JSAF)会員であること。
日本 A 級ディンギー協会に所属する艇および会員であること。
別途所定の申込書に必要事項を記載の上 4 月 30 日までに下記実行委員会事務局まで、メール(原則) aclassd2015@yahoo.co.jp 宛または郵送で申し込むこと。
3. 参加料： 参加料は次のとおりとする。
艇参加料 15,000 円
選手参加料 9,000 円 (傷害保険料を含む)
家族参加料 5,000 円 (傷害保険料を含む)

4. 日程:
- 5月29日(金) 9:00~16:00 受付
13:00~16:00 計測 (レース公示 8.項の対象となる艇)
16:00~17:00 理事会(於 新西宮ヨットハーバー1F 会議室)
17:00~18:00 監督会議(於 同上)
- 5月30日(土) 8:20~8:45 開会式(於 新西宮ヨットハーバー・スロープ)
9:25~ シニア戦第1レース予告信号
引き続き本戦の第1レースを行う。
FRP艇が先にスタートし、その5分後に木造艇がスタートする。
本戦の第2レース以降を引き続き行う。
18:00~20:00 レセプション(於 ノボテル甲子園)
- 5月31日(日) 9:25~ シニア戦第2レース予告信号
引き続き本戦のこの日の最初のレースを行う。
FRP艇が先にスタートし、その5分後に木造艇がスタートする。
本戦の以降のレースを引き続き行う。
15:00~ 閉会式(於 新西宮ヨットハーバー・スロープ)

5. 種目およびレース数:

本戦は6レースを予定している。1日の最大レース数は4レースとし、各日のレース数はレース委員会の裁量に委ねられる。

シニア戦は2レースを予定している。1日のレース数は1レースとする。

本戦およびシニア戦とも1レースを完了することにより、レガッタは成立する。

シニア戦は、ヘルムスマンが(来たる平成27年12月末日時点で)70歳以上の艇のレースをいう。

6. セール: 予備セールは原則として登録されたセール番号と同じ番号とするが、異なるセール番号を使用する場合は事前申告により認められる。この場合のリコールNO.は登録されたリコールNO.を使用する。リコールNO.は赤色とし、サイズは1文字につきおよそ縦20cm×横15cmとする。リコールNO.(シール)は各チームが準備する。
- FRP艇と木造艇の識別のため、FRP艇はセール上部に赤色四角形のシールを45度回転させて貼るものとする。

7. 乗員および装備:

1艇当りの乗員は2名であること。

競技者は、艇が水上にいる間常に、個人用浮揚用具(ライフジャケット)を着用すること。ウェットスーツやドライスーツはライフジャケットとは認められない。(規則第4章前文の変更)

艇は、直径最少6mm、長さ10m以上の曳船用専用ロープを搭載すること。

8. 装備と計測のチェック:

新造艇、新規登録艇および本協会(JADA)が指定する艇について、計測を実施する。

エアバックおよびそれに類する発泡材は、エアの状況など安全機能を検査する場合がある。

また、艇または装備は、クラスルールに従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。これらは本大会に参加したすべての艇が対象となる。

9. 帆走指示書: 大会会場にて受付時に入手できる。また大会ウェブサイトからもダウンロードできる。

10. レース・エリア: 新西宮ヨットハーバー沖の海面に設置する。

レース・エリア図およびコース図は帆走指示書に記載される。

11. ペナルティー方式:

規則 44.1 を変更し、「2 回転ペナルティー」を「1 回転ペナルティー」に置き換える。

付則 P「規則 42 に対する特別な処置」を帆走指示書で変更し適用する。

12. 得点: 付則 A を次のように変更し適用する。

本戦は完了したすべてのレースの得点を合計してシリーズの得点とする。

シニア戦の得点は本戦の得点合計に加えない。

13. 支援艇: 支援艇を認める。艇にはチーム名のわかる標記(旗等)をすること。

14. 表彰: 本戦優勝チーム(木造艇および FRP 艇)には、日本セーリング連盟(JSAF)会長賞状、日本 A 級ディンギー協会楯(持ち回り、返却時にレプリカ授与)および本協会会長賞状が贈られる。2~6 位には、本協会会長賞状が贈られる。

シニア戦 1 位には、本協会会長賞状(翌年度にレプリカ楯を授与)が贈られる。2~3 位には本協会会長賞状が贈られる。

15. 責任の否認: このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則 4[レースすることの決定]参照。主催団体は大会の前後、期間中に生じた物理的損傷または人身傷害若しくは死亡によるいかなる責任も負わない。

16. メディア権・カメラおよび電子機器:

この大会において次のメディア規定を定める。

1) レース委員会は、参加艇の一部または全部に対して、スマートフォンその他の機器による航跡追跡およびそのデータ取得等のための機器の搭載を要請する場合があります。要請を受けた競技艇はこれを拒むことができない。また、航跡追跡のデータにかかる所有権、著作権、その他一切の権利は、すべて主催団体に帰属するものとし、レース参加者は、その利用について一切の異議を述べない。機器類は主催団体が準備する。

2) レース委員会はレース準備中ならびにレース中に、無人ヘリコプターその他の機器による映像の撮影を行うことがあり、レース参加者はこれを承諾する。また、撮影された映像の権利はすべて主催団体に帰属するものとし、レース参加者は、肖像権その他の権利を行使せず、また、当該映像の複製、上映、その他の利用について一切異議を述べないものとする。

16. 問合わせ先: 第 25 回全日本 A 級ディンギー選手権 2015 西宮大会

実行委員会 荒川 洋

email: aclassd2015@yahoo.co.jp お問い合わせ・ご連絡は email でお願います。

tel: 090-8825-3854(アラカワ ヒロシ)※緊急連絡先

大会ウェブサイト: <http://aclass.cocolog-nifty.com>